

もてぎチャンピオンカップレース 第2戦 レポート

(ツインリンクもてぎ ロードコース 4月14日 晴れ)



<レーシングチーム> LTV Racing

<ドライバー> 天野 翼 (20歳)

<参戦クラス> Super-FJクラス(ゼッケン23番 参加15台)

<マシン> ZAP F109

<タイヤ> YOKOHAMA

<オイル> WAKO'S

<リザルト> 予選 3位

決勝第1ヒート 2位

決勝第2ヒート 5位

<リザルト詳細URL>

ツインリンクもてぎ http://www.twinring.jp/result_m/2013/4wheel/

Super-FJオフィシャル <http://www.jss-org.com/>

<詳細レポート>

* 金・土曜日練習走行

金曜日はオーバーホールエンジンのチェックと、セッティングの確認を行う。土曜日はニュータイヤを入れて、予選シミュレーションと決勝シミュレーションを行う。ニュータイヤを入れたプラクティスでは2分2秒5の自己ベストタイムを記録。決勝シミュレーションでも2秒後半のタイムで走行できたが、その後の2プラクティスでは2秒台に入ることがなかった。

* レース当日

【公式予選】

練習走行で自己ベストタイムをマークしたセッティングで、今回は20分間のタイムアタックに挑む。前回の反省点を活かし、ピットロード3番目に並ぶ。アウトラップで1台前に出て、前回ポールシッターの根本選手の背後につけることができ、ここまではプラン通りに進んだ。しかし、背後について周回を重ね3ラップ目に前のマシンがさえぎりラジエターに風が当たらない為、水温が上昇。やむを得ずペースを落とし単独走行できるポジションを捜し再アタックする。自己ベストは更新できなかったものの、2'02.782のタイムで予選3番手のポジションを獲得した。ポールポジションは2戦連続で根本選手だった。

【決勝第1ヒート】

スタートの得意な天野選手は、グリーンシグナルと同時に抜群のスタートを決め2位に浮上する。しかし、3番手以降の選手もペースが良く常にパッシングを仕掛けてくる。2番手争いが激しくなると、トップの根本選手は余裕を持って逃げ切ってしまった。一方で3番手争いが激しくなると、天野選手もマージンを得て2位フィニッシュすることができた。

【決勝第2ヒート】

第1ヒートで2位を獲得した為、前に誰もいないフロントローからのスタートとなる。本人はもちろんのこと関係者も得意のスタートダッシュに期待が掛かっていた。スタートは、レッドシグナルが点灯し消灯スタートなのだが、なんとレッドシグナル点灯前に車体が動いてしまった。点灯前なので一度完全に停止し再度スタートに備えたのだが、ペナルティをとられてしまうかもという動揺からか、マシントラブルか原因解明していないが、スタート時に派手なホイールスピンをし、2コーナー立ち上がりまでに9番手までドロップしてしまう。そこから追い上げて1周目終了時には6位。3周目には5位まで挽回し、2位争いの集団まで2秒差となる。しかし、スタート時の派手なホイールスピンによりリアタイヤを傷めてしまった為、ペースを上げることができずにそのまま5位フィニッシュとなった。



喜びと期待一転落胆の一日でしたが、トップ争いができるところまで来たことと、課題が明確になった為、5月12日の3戦目は優勝を確実なものにします。
引き続き、応援をよろしくお願いいたします。

【ドライバーコメント】

今回のレースは、練習から通して走りが安定していませんでした。速いセッション、遅いセッション、タイムにバラつきがあり苦戦しました。当日もペースが掴めず、抑えのレースになってしまいました。決勝では、スタートもミスしてしまい、万事休すという感じに終わってしまいました。実力不足でした。その中でも、バトルでは他に劣らない強いレースが出来ましたし、良かった部分もあったと思います。次戦、まずはロガー分析と走りの幅を増やすトレーニングを徹底し、結果につなげたいと思います。